

平成 25 年 6 月 4 日

同時発表：舞鶴市

海事局海事人材政策課
海事振興企画室
担当：岩下、武田、竹本
03-5253-8946(直通)
03-5253-8111(内線 45-128・45-124)

平成26年「海フェスタ」の開催地決定！

このたび、平成 26 年の「海フェスタ」を、京都府舞鶴市を中心とした 5 市 2 町で開催することに決定し、6 月 4 日 14:30、副大臣室において、梶山副大臣から多々見舞鶴市長に対し開催決定通知書を交付致しました。

四面を海に囲まれた日本は、古くから海の恩恵を受けてきました。そこで、「海の恩恵に感謝し、海洋国日本の繁栄を願う日」という「海の日」本来の意義を再認識し、海に親しむ環境づくりを進め、広く国民の海に対する関心を喚起することを目的として、毎年、主要港湾都市で「海フェスタ」が開催されています。

京都府北部中丹・丹後地域は、豊かな自然と歴史を背景に、個性あふれる文化、海の幸・山の幸など豊富な食、ものづくりの技術といった地域資源を育んできました。

京都舞鶴港は、昭和 26 年に国の重要港湾に指定され、北東アジア及びロシアとの窓口である外国貿易港として、また近畿圏と北海道を結ぶ国内貿易港として発展してきました。また、平成 23 年には、日本海側拠点港として選定されました。

本フェスタでは、こうした地域ならではの多彩な資源を活かし、海を通じた交流の歴史を育み、美しい海と伝統文化を後世へ引き継ぐとともに、「海の京都」府北部一体となった質の高い観光の提供等により地域全体の活性化を図っていくことをコンセプトとしています。

開催に当たっては、京都府舞鶴市、福知山市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町及び与謝野町が連携し、京都府の協力も受けて海の総合展、船舶の体験航海や講演会などの行事を行う予定です。

なお、本年の「海フェスタおが」は、7 月 13 日～7 月 28 日までの 16 日間、秋田県男鹿市、秋田市、潟上市、三種町及び大潟村において開催されますので併せてお知らせ致します。

【参考】「海フェスタ」（海の祭典）過去の開催地

開催年	回数	開催都市	皇族の御成	備考
昭和61年	第1回	福岡（北九州）	秋篠宮殿下	
昭和62年	第2回	兵庫（神戸）	秋篠宮殿下	
昭和63年	第3回	愛知（名古屋）	秋篠宮殿下	
平成元年	第4回	神奈川（横浜）	皇太子殿下	
平成2年	第5回	東京（東京）	天皇皇后両陛下	
平成3年	第6回	新潟（新潟）	秋篠宮同妃両殿下	
平成4年	第7回	宮城（仙台）	秋篠宮同妃両殿下	
平成5年	第8回	北海道（小樽）	秋篠宮同妃両殿下	
平成6年	第9回	大阪（大阪）	秋篠宮同妃両殿下	
平成7年	第10回	鹿児島（鹿児島）	秋篠宮同妃両殿下	
平成8年	第11回	三重（四日市）	秋篠宮同妃両殿下	
平成9年	第12回	徳島（徳島）	秋篠宮同妃両殿下	
平成10年	第13回	広島（広島）	秋篠宮同妃両殿下	
平成11年	第14回	福井（敦賀）	秋篠宮同妃両殿下	
平成12年	第15回	静岡（静岡）	御成中止	
平成13年	第16回	青森（青森）	秋篠宮同妃両殿下	
平成14年	第17回	石川（金沢・七尾）	秋篠宮同妃両殿下	
平成15年	第1回	兵庫（神戸）	秋篠宮同妃両殿下	「海フェスタ」に改称
平成16年	第2回	福岡（福岡）	秋篠宮同妃両殿下	
平成17年	第3回	沖縄（那覇）	秋篠宮同妃両殿下	
平成18年	第4回	富山（富山）	秋篠宮殿下	
平成19年	第5回	愛知（名古屋）	秋篠宮同妃両殿下	
平成20年	第6回	岩手（大船渡他）	秋篠宮同妃両殿下	3市2町で開催
平成21年	第7回	神奈川（横浜）	秋篠宮同妃両殿下	
平成22年	第8回	長崎（長崎他）	秋篠宮同妃両殿下	2市1町で開催
平成23年	東日本大震災の影響を考慮し延期			
平成24年	第9回	広島（尾道他）	秋篠宮同妃両殿下	3市で開催
平成25年	第10回	秋田（男鹿他）		3市1町1村で開催

【参考】

「海フェスタ」とは

「海フェスタ」は「海の恩恵に感謝し、海洋国日本の繁栄を願う日」という「海の日」（7月第三月曜日）本来の意義を再認識し、3連休をより有効に活用し海に感謝し、海に親しみ、海の大切さについて理解を深めることを目的として昭和61年から主要港湾都市において開催されているものです。

※「海フェスタ」では例年、皇族からのご臨席を賜る記念式典及び祝賀会をはじめさまざまなイベントが開催されます。